

応用 研修 都 Ⅲ

生涯 研 習 会

【開催コード】

申請中（自由研修課程）

【講師及び演題】

- テーマ1 中村 涼太 先生……深い縁下形成におけるエマージェンスプロファイル
テーマ2 田村 聡 先生……若手歯科技工士から見た歯科用3Dプリンターの実際
テーマ3 立澤 玲奈 先生……子育て9年、技工ブランク9年主婦の挑戦
テーマ4 平島 真悟 先生……前歯部審美修復における色調再現の探求

【定員】

50名

【受講費】

無 料

【受付申込方法】

当日受付（申込不要）

【会場】

KFC Hall & Rooms 10階「109会議室」

〒130-0015 東京都墨田区横網1-6-1



- 都営地下鉄大江戸線「両国駅」A1出入口に直結
- JR中央・総武線「両国駅」〔東口より徒歩約6分
西口より徒歩約7分〕

【お問い合わせ】

一般社団法人 東京都歯科技工士会

〒170-0004 東京都豊島区北大塚2-2-10 ヴィップ大塚香川ビル4F

FAX : 03-3576-5615

令和元年度

応用講習会Ⅲ

若手講師 リレーセミナー

Tokyo master course Science Lecture



都
技
生
涯
研
修

【開催日時】

令和元年 11月17日 日

受付 12:30 開始 13:00 → 終了 17:00

【会場】

KFC Hall & Rooms

10階「109会議室」

【講師】

中村 涼太 先生

- テーマ1 深い縁下形成における
エマージェンスプロファイル

田村 聡 先生

- テーマ2 若手歯科技工士から見た
歯科用3Dプリンターの実際

立澤 玲奈 先生

- テーマ3 子育て9年、技工ブランク9年主婦の挑戦
～子育てと仕事の両立を目指して～

平島 真悟 先生

- テーマ4 前歯部審美修復における色調再現の探求

【担当】 東部ブロック

一般社団法人 東京都歯科技工士会

若手講師リレーセミナー

【抄録】

深い縁下形成における
エマーゼンスプロファイル

テーマ1

学生時代に行田克則先生の話聞く機会があった。その講演はまだ学生である私にはあまりにも難しい内容であったが、目指すべき目標となったのは間違いない。専門学校卒業後、勤務先のドクターが行田先生の歯肉縁下形成テクニックを実践しており、エマーゼンスプロファイルを考える機会が多かった。私なりに学んだ事を症例を交えながら、エマーゼンスプロファイルに焦点を当て、作業用模型のどの部分に着目し、どのようにクラウンカントゥアを与えていくかを中心に報告しようと思う。



■講師略歴

中村 涼太

[なかむら りょうた]

2016年 東邦歯科医療専門学校 卒業
同年 東小金井歯科 入社
2017年 第14期oral design彩雲コース受講
2018年 東小金井歯科 退社
2019年 (株)プロミネント 入社

テーマ2

歯科技工のデジタル化の発展は目覚ましく、ジルコニア修復物やCAD/CAM冠の普及により歯科技工所における切削加工機の活用はもはや当たり前となりました。近年では口腔内スキャナーによる歯科技工ワークフローの変化も相まって、歯科用3Dプリンターの活用が進んでいます。3Dプリンティング技術はモノづくり革命を起こすと取り沙汰され、様々な分野で活用が広がってきました。歯科医療分野もその例外ではなく、模型やキャストパターンなどのプリントに応用され、歯科用3Dプリンターを導入する歯科技工所も増えてきました。

しかし実際使用してみるとトラブルも多く、ソフト上でのパラメーターの調整や煩雑な作業を必要とすることがわかりました。今回は歯科用3Dプリンター活用において知っておくべき基本的知識や導入のメリット、デメリット、留意しなければならないポイントなどを、実際の体験をもとにお伝えいたします。また、病院の歯科技工部としての日々の仕事や、歯科技工士学校の閉校が続く歯科技工業界について、若手歯科技工士という立場からお話しさせて頂ければと思います。



■講師略歴

田村 聡

[たむら そう]

2015年 東京医科歯科大学歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻卒業
同年 神奈川県内コマースラルラボ 入社
2017年 神奈川県内コマースラルラボ 退社
2018年 東京医科歯科大学歯学部附属病院歯科技工部 入職
所属
●東京都歯科技工士会 ●日本歯科技工学会
●東京医科歯科大学歯科技工同窓会「技友会」理事 学術部長

若手歯科技工士から見た
歯科用3Dプリンターの実際子育て9年、
技工ブランク9年主婦の挑戦
子育てと仕事の両立を目指して

テーマ3

2017年総務省発表のデータによると、夫婦共働き世帯が48.8%と、子供がいるいないに関わらず、約半数の世帯が夫だけでなく、妻も働いています。女性の就業率は増加しているものの、第1子の妊娠出産を機に約4割の女性が退職しています。子育てに専念したい人も一定数いる中、職場環境や雇用条件で辞めざるを得ない人も沢山います。そんな私も例外に漏れず、妊娠出産を機に院内ラボを退職しています。少子高齢化による労働人口の減少により女性の活躍が重要視される昨今、実際に結婚、妊娠出産、子育てと大きく変わる女性のライフステージを経験した立場から、9年のブランクから再び技工業界に戻り開業に至るまでの経緯をお話したいと思います。



■講師略歴

立澤 玲奈

[たつざわ れいな]

2000年 日本歯科大学附属歯科専門学校歯科技工士科 卒業
2002年 日本歯科大学附属歯科専門学校専攻科ボーセン科 卒業
同年 デンタルラボ オメガスタジオ 入社
2004年3月 デンタルラボ オメガスタジオ 退社
同年 4月 福田歯科医院 入社
2009年5月 福田歯科医院 退社
2018年4月 Dental lab Ametista 開業

テーマ4

昨今、患者のデンタルIQが向上し審美欲求も高まりつつある中で特に前歯部の修復は色調、形態がマッチしたハイクオリティな補綴物が求められる時代だと感じている。CAD/CAM、マテリアルの進歩により技工士の“手”の介入が少ないデジタル技工によってモノシリクなクラウンにステイニングのみで製作された前歯部修復物が装着される現実もある。しかし、“本物”を求める歯科医師、患者を納得させるまでのクオリティには至っていない。やはり陶材を築盛したクラウンにしか出せない色調や内部の立体感、表面性状はアナログ技工にしかできないと考えている。前歯部の補綴物を製作するにあたって“色調”、“形態”の精度の両立が必要だが、今回は日々の臨床にて色調再現において尽力していることを話したいと思う。



■講師略歴

平島 真悟

[ひらしま しんご]

1985年11月 山梨県 甲府市出身
2010年 3月 建築職に従事
2012年 3月 愛歯技工専門学校 卒業
同年 4月 ユアーズデンタルラボトリー 入社
2016年 4月 Oral design 彩雲コース受講
2017年 1月 ウエマツ歯科医院 入局
2019年 4月 Willi Geller ハンズオンコース受講
所属
●東京SJCD ●Esthetic Explorers ●IDC 所属

前歯部審美修復における
色調再現の探求